

国語 3年生 学習計画と評価規準について

【学習の年間計画】

学期	月	学習内容 (単元)	学習のねらい
1 学 期	4	◆オリエンテーション ・世界はうつくしいと ・握手	【知・技】 ・詩に用いられている語句や表現に着目して考えている。 ・時間・場所など、「現在」と「回想」の部分を読み分けるポイントとなる語句や、登場人物の心情や人物像を表す言葉、比喩表現などに着目している。 【思・判・表】「読むこと」 ・「現在」と「回想」の部分を読み分け、物語の展開の効果について考えている。 ・文章の内容に沿って登場人物の生き方や価値観を読み取り、自分の知識や経験と比較しながら考えている。
	5	・評価しながら聞く ・学びて時に之を習ふ—「論語」から ・情報の信頼性 ・熟語の読み方 ・漢字に親しもう1	【知・技】 ・根拠としている情報について、事実関係や裏付けなどに注意して聞いている。 ・教材文を参考に歴史的背景を押さえ、教材の書き下し文や訓読文を読むことを通して、「論語」の世界に親しんでいる。 ・情報の発信日時、発信源、情報の目的などの観点から、情報の信頼性を確認している。 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」 ・自分の意見と根拠を明確にし、相手の立場から予想される反論についても考えている。 ・立場ごとの主張と根拠、共通点と相違点を整理してメモを取り、根拠の適切さや自分の考えとの違い、取り入れたい表現などを伝え合っている。 【思・判・表】「読むこと」 ・孔子の生き方に関する考えを、自分の生き方や生活と関連づけて考えている。
	6	・作られた「物語」を超えて ・説得力のある構成を考えよう スピーチで社会に思いを届ける ・漢字に親しもう2 ・すいかは幾つ必要？(文法)	【知・技】 ・漢字の音訓や、熟語における音訓の組み合わせに注意して、漢字を読んだり書いたりしている。 ・ゴリラの事例と人間社会の話に着目して、具体と抽象の関係を理解している。 【思・判・表】「読むこと」 ・論説の特性を踏まえ、原因と結果、意見と根拠、具体と抽象などの関係に着目して、論理の展開のしかたを図式化するなどして捉えている。 ・原因と結果、意見と根拠、具体と抽象などの関係に着目して、それらが文章の中で無理なく結び付いているかを確認めながら、自分の考えをまとめている。
	7	・実用的な文章を読もう ・報道文を比較して読もう ・俳句の可能性／俳句を味わう ・言葉を選ぼう ・和語、漢語、外来語	【知・技】 ・実用的な文章の資料ごとに、情報の発信者・発信時・発信目的を確認している。 ・俳句で使われている語句の意味を理解したり、豊かなイメージを喚起する効果的な語句に着目したりしている。 ・俳句の形式とその特徴について理解し、俳句を創作している。 【思・判・表】「読むこと」「書くこと」 ・事実や事例の選び方、取り上げ方や語句の選び方に着目して文章を読み、書き手の思惑や意図について考えている。 ・読み手に必要な情報を過不足なく伝えているか、読み手の状況に合わせた言葉や表現を使っているか、不親切で誤解を招く表現になっていないかなどの点に着目して文章を読み、課題に取り組んでいる。 ・観点ごとに情報を整理し、着眼的を参考に情報の客観性や信頼性を確認しながら表にまとめている。 ・語句の選び方や表現のしかたに着目して俳句を読み、評価している。 ・伝えたいことが効果的に伝わる構成(語順)を考えて、俳句を創作している。 ・自分の思いや考えがわかりやすく伝わるように、語句や表現を工夫して俳句を創作している。
	9	・挨拶—原爆の写真によせて ・故郷 ・聞き上手になろう	【知・技】 ・比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考えている。 ・文学作品を読むことが、自分の人生や自分が生きている社会について深く考えるきっかけとなることに気づいている。 【思・判・表】「読むこと」 ・比喩や象徴的な表現の効果について自分の考えをまとめている。 ・現代社会の状況と重ね合わせながら詩を読み深め、作者の思いや考えに対して自分の考えをまとめている。 ・自分の知識や経験と比べたり、語り手や人物の立場、時代背景などを変えて読んでみたりして、作品のもつ特性や価値を探っている。 ・「私」が考えている「希望」や望む社会の在り方などについてどう考えるか、根拠に基づいて自分の意見を述べている。 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」 自分の知識や経験などと結び付けながら話を聞き、相手の思いに迫ることができた質問や話を豊かに展開させた応答は、どのようなものだったか捉えている。

2 学 期	10	<ul style="list-style-type: none"> ・論理の展開を考える ・慣用句、ことわざ、故事成語 ・漢字の造語力 ・漢字に親しもう3 ・人工知能との未来／人間と人工知能と創造性 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「具体と抽象」、「事実と意見」、「意見と根拠」について既習した内容を振り返りながら課題に取り組んでいる。 ・慣用句を使って短文を作ったり、ことわざや故事成語を調べたりしている。 ・自分の知識や経験と比べ、筆者の意見や根拠に納得できるかどうか検討しようとしている。 <p>【思・判・表】「書くこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に沿って文章を推敲し、論理の展開を整えている。 <p>【思・判・表】「読むこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二つの文章を比較して共通点や相違点を表にまとめ、それを基に話し合っている。 ・自分の立場を明確にし、根拠となる事実を引用するなどして、自分の意見を書いている。
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・多角的に分析して書こう ・話し合いを効果的に進める ・合意形成に向けて話し合おう ・漢字に親しもう4 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な題材を基に、その価値についてまとめている。 ・全体に関わる大きな論点から、具体的な論点へと話し合いを進める方法を考えている。 <p>【思・判・表】「書くこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観点を決めて問いと考えを書き出し、表にまとめるなどして分析している。 ・自分の意見を支える根拠となる資料を引用するなどして構成を考え、批評文を書いている。 <p>【思・判・表】「話すこと・聞くこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの目的や進み具合など展望をもって効果的に話し合う工夫を考えている。
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・初恋 ・古今和歌集 仮名序 ・君待つと一万葉・古今・新古今 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読している。 ・「和歌の世界」を読んだり、「仮名序」を朗読して比喩的な効果を確認したりしながら、和歌に対する古人の思いを捉えようとしている。 ・三つの歌集の歌を比較したり朗読したりして、それぞれの作者の心情や情景を想像している。 ・気に入った言葉や表現の効果などに気づき、引用している。 <p>【思・判・表】「読むこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文語定型詩の構成や場面の展開に注意して、表現された情景や心情を想像している。 ・心情や情景、和歌の表現方法などについて自分の考えをもっている。
3 学 期	1	<ul style="list-style-type: none"> ・夏草―「おくのほそ道」から ・古典名句・名言集 ・漢字のまとめ ・漢字に親しもう5 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者や作品について興味をもち、俳句と地の文との関係に注意しながら朗読している。 ・古典の言葉を引用して鑑賞文やメッセージを書いている。 <p>【思・判・表】「読むこと」「書くこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芭蕉の「旅」についての考えを読み取り、現代の「旅」がもつ意味と比較している。 ・芭蕉が見たものや感じたことを想像している。 ・自分の思いを表現するのにふさわしい文章の種類を選び、相手の状況を踏まえて構成を工夫してメッセージを書いている。
	2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・誰かの代わりに ・「ない」の違いがわからない？ ・温かいスープ ・わたしを束ねないで ・三年間の歩みを振り返ろう 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抽象的な概念を表す語句を辞書で調べたり、文脈上での意味を確認したりしながら、文章を読んでいる。 ・言葉の使われ方や表現の特色に気をつけながら詩を朗読している。 ・「ない」の違いについて品詞や働きの違いを文章の中で理解している。 <p>【思・判・表】「読むこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を批判的に読み、友達と意見を交換しながら、筆者の考えについて自分の考えをまとめている。 ・自分の生き方と作品に表現された考え方を比較して、「国際性」とは何か自分の考えをまとめている。 ・詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、社会状況や人間の生き方について考えている。